

# 医師を募集しています。

岐阜大学医学部附属病院高度救命救急センターでは後期研修プログラムとして、一般診療科医になろうとする医師向けのジェネラリストコース、そして救急科専門医および指導医を目指す医師向けの救急科専門医コースがあります。いずれのコースも中途でのコース変更は可能です。

現在、救急専門医は3000人、中でも救急指導医は全国で500名程度しかいません。そのため、全国にある国公立病院、民間病院から救急専門医を送って欲しいという数多くの依頼があります。だからこそ、救急医は待ち望まれている状態であり、将来的には様々な活躍の場、多くの可能性が広がります。

## 専門分野に精通した救急救命のプロフェッショナル

### 救急科専門医コース（定員5名）

救急科専門医習得だけでなく、様々な医療現場で役立つ医師の養成を目標とします。

#### [救急外科医コース（外傷外科医養成コース）]

救急専門医習得後、あらゆる外傷治療に対応可能とすることを目的に各専門医施設での研修システムを整えている（外科専門医、脳外科専門医習得を目標とする）。

#### [ER医師養成コース]

救急専門医習得だけでなく、都市型ER救急（聖路加国際病院での研修）、地域型ER救急での研修を通じてあらゆるERに対応可能な医師を養成する。

#### [救急集中治療医養成コース]

集中治療専門医習得を目標に、救急領域における重症患者管理が可能となる医師を養成する。

#### [フライトドクター養成コース]

日本航空医療学会認定指導者習得を目標に、各種航空医療に関する学習ならびに実践を行う（当院は日本航空医療学会認定施設であり、来年度からドクターヘリ導入予定）。

#### [地域医療密着型コース:プライマリケア医師養成コース]

地域医療センターとの連携により、地域医療施設（下呂温泉病院、高山赤十字病院など）での救急研修も可能である。

#### [救急研究医コース]

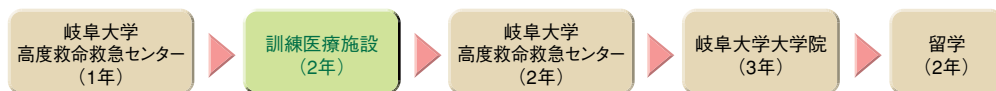
社会人大学院に入学して医員として働きながら研究を行い、4年間で学位と救急専門医を取得するコース。

研究に関しては、基礎医学・工学部との連携により学術的に救急医療をとらえることを目的とする。

#### [一般救急医コース]

一般的に救急医療を学ぶコース。その過程で必要があれば専門コースに異動してすべての過程を行うことも可能。

#### [研修例]・・・前期研修修了より



#### [得られる専門医資格]

- 救急科専門医 ● 集中治療専門医 ● 高気圧酸素療法管理医 ● 外傷学会専門医
- 内科学会専門医 ● 透析医学会専門医 ● 航空医療医学会専門医 etc. ※10年の経験で救急指導医が取得できます。



#### [訓練医療施設]

国立国際医療センター緊急医療部  
 聖路加国際病院救命救急センター  
 聖隷三方原病院救命救急センター  
 杏林大学高度救命救急センター  
 etc.

※コースによって派遣する病院は変わります。  
 ご相談の上決定します。

ちょっと  
 かじってみる？

救急救命をトータル的に学び、緊急時に対応できるあらゆる能力を養う

### ジェネラリストコース（定員5名）

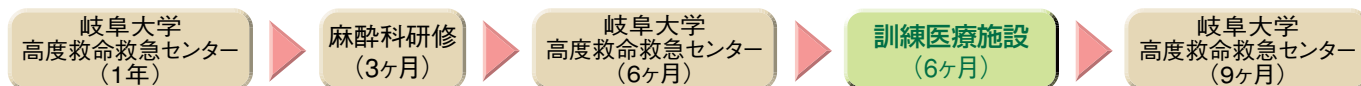
将来、開業医や一般診療科の勤務医になろうと考えている医師向けのコースです。

1年から3年の救急研修プログラムで、緊急事態発生時の対応法など最低限の知識や技術を身につけます。医療過誤に非常に厳しい世情において、万が一、何か起こったときの対応ができるかどうかによって医師としての人生が変わってきます。初期研修の救急体験では不十分であったと考える医師向けのコースです。

#### ●1年コース（定員3名） ●3年コース（定員2名）

このコースでは、救急科専門医、集中治療専門医、高気圧酸素療法管理医等の受験資格が得られます。このコースを修了した一般医は今後きわめて評価の高い医師になると予想されます。

#### [研修例]・・・前期研修修了より



#### [得られる専門医資格] 一般医3年コース

- 救急科専門医受験資格 ● 集中治療専門医受験資格 ● 高気圧酸素療法管理医